

《事後「振り返り」アンケート》まとめ
セッションC：国際教育プログラムの学習成果（提出者 21 名）

1. このセッションで大きな学びがあった（回答箇所に○を記入）
とてもそう思う 19
そう思う 2
あまり思わない
全く思わない
2. COIL の基本概念を理解することができた（回答箇所に○を記入）
とてもそう思う 16
そう思う 5
あまり思わない
全く思わない
3. アセスメントについて理解を深めることができた（回答箇所に○を記入）
とてもそう思う 13
そう思う 8
あまり思わない
全く思わない
4. このセッションを同僚等にすすめたい（回答箇所に○を記入）
とてもそう思う 14
そう思う 7
あまり思わない
全く思わない
5. 新たな学んだことについて記述してください
 - ・教育手法とその検証等
 - ・COIL と VE の違いを自分自身で消化できていなかったため、基本的な考え方を教えていただけただけは、促進する立場としてとても有意義でした。
 - ・特に COIL のセッションにおいて、「チャンピオン」に頼りすぎると他の教員への普及が困難になるというお話にはっとさせられました。今後学内普及をしていく上で一見関心のなさそうな教員が取り組むというストーリーを描いていければと思います。
 - ・COIL の取り組みを、実際に体感しながら学ぶことができ、非常に有意義な時間になりました。ありがとうございました。
 - ・様々なオンラインツールを活用し、効果的に COIL 型教育を推進していく方法について学ぶことができた。ただ、COIL を大学としてどのように推進していくかなど、多くの検討課題が存在することも理解できた。
 - ・COIL について、あまりバックグラウンド知識がなかったため、勉強になりました。授業

でも国境を越え、IT ツールをうまく使うことによって、インタラクティブに学ぶことができることがわかりました。学生の海外派遣に従事していますが、金銭的な問題で海外に行けない学生も多く、キャンパス内での国際体験の強化の必要性を感じています。また、PADLET や KAHOOT といったアプリを使うのがとても面白く、楽しみながら学べました。

- COIL について、グループワークの評価について、実践についてのアイデア、課題などが理解できた。

- とても楽しかったですし、為になりました。ただ、教員ではないので、これを伝える相手はおらず、そこが残念です。実社会でこれがどのように活かせるのか考えていきたいと思います。日本の社会人の教育にも COIL は Skill Training として面白いと思います。

- COIL について初めて詳しく知ることができた。

- 全てが新しい学びでした。授業担当者からも具体的な授業の様子を伝えていただき、どのように授業を進めればいいのか具体的にわかりました。

- COIL や e-portfolio の活用について、実際にお話を伺えてよかったです。

- 主体的な学びの有効な手法だと思います。

- COIL の考え方は、特に高価な機材を必要とせず、その気があれば始めることができるのが良いと思った。国内の学生同士の交流でも応用できると思った。

- COIL でしっかり学んだ学生は社会人として必要とされる基礎力をある程度身に着けた状態になると感じた。チームワークスキルや基本的なデジタルリテラシーなど。ぜひ多くの学生に COIL を通じて学び、社会に出てほしいと思った。

- 全学でコイルを導入するのはハードルが高そうですが、一部の教員から始めるのはそれほどハードルが高くないかと思いました。eポートフォリオの先駆的な活用事例を知ることができました。

- 岩居先生の授業などで、テレビ会議や facebook を繋いでやっていて、それも COIL かな、と思いました。オンラインで深い学びやグループワークができるのは魅力的です。今後活用したいと思いました。Pdled は探していたアプリなので、大変ありがたかったです、

6. その他コメント

- 非常に有意義な研修でした。ありがとうございました。

- 具体的なツールなども紹介していただき、COIL の授業運営をイメージすることができました。

- 大変貴重な機会でした。芦沢先生、池田先生ありがとうございました。

- 非常に有意義な研修機会をご提供いただき、ありがとうございました。

- 海外に派遣する学生の事前・留学中・事後のサポートのため、学生に学習記録をつけさせることを始めましたが、学生自身にとってつけていてよかった記録として残せているか、

まだまだ改善の余地があります。今回の、講義を聞いて、もう一度改めて、内容について見直していきたいと思いました。 2日間、楽しく学ばせていただきました。ありがとうございました。

- ありがとうございました！

- アメリカの大学出願システムの中で Coalition Application というのがありますが、そこにロッカーという ePortfolio があります。トップスクールに進学したい高校生が1年生の時から、自分の考えややっている活動について書きためて行って、それを大学が閲覧可能にするかどうかは自分で決めることができます。大学は結構これを青田刈り？に使っているみたいで面白いです。今早い段階から自分をアピールする手段としてポートフォリオの利用はもっともっと広まれば面白いです。

- ワークショップでは知識を共有させていただきだけでなく、グループワークなども取り入れられていて、有意義な学びの機会を得た。 ありがとうございました。

- 教室内でネットがつながりやすいとよかったです。

- 現場に関わっていらっしゃる皆さんとお話をうかがうことができました。 有意義な研修となりました。

- 分かりやすい講義をありがとうございました。

2018年9月26日 まとめ